



## 「喜びを知らない子は悲しみを知らない」

冷たい風が吹く季節になりました。そんな中、パッと咲いている“梅”。私はこの“梅”が好きな花の一つです。寒さで下を向がちな私たちを明るくしてくれる“梅”。花言葉は「忠実」「忍耐」「高潔」…冬の寒さの中、耐え忍びながら咲く花の様子が子どもたちの成長にも似ているように思います。この1年間、様々な経験を重ねてきた子どもたち。その経験が次のクラス、ステージに向けて、パッと花咲くのを今か今かと子どもたちの中で待っているのだと思います。

題名の言葉は1年を通じて、運動遊びの講師をお願いしている“げんき先生”との立ち話をさせていただき、心に残った言葉です。

ある日のちゅうりっぷぐみでの出来事です…

Aさんが砂場で丸い型に砂を詰めて遊んでいると、Bさんがその型をわざとひっくり返しました。Aさんは「もう(Bさんとは)遊ばない!」と怒りながらそして泣きながら叫んでいました。その直後Bさんはコップに砂をいっぱいに入れていたものを(わざとではないものの…)他の子にひっくり返されてしまいました。するとBさんもAさんのように「もう!」と怒っていました。そんなBさんに対し、イジワルな私は(笑)「Aさんも(Bさんのように)嫌な気持ちだったんだよ」とささやくと、Bさんは妙に納得したようで「…うん」と答え、怒りは収まっていきました。

ちゅうりっぷぐみ(3歳児)の今の時期は“他人を他人と意識する”時期です。今までは自己中心的で「他の子の気持ちなんか知ったことか!」と考えられていなかった子どもたちが少しずつ、他の子にも様々な“想い”があることに気づき始め、それと同時にげんき先生に教えていただいたように、「せんせいと ハイタッチするのたのしいなあ」「ママに てをつないでもらって うれしいなあ」「すなばで スコップつかうの おもしろいなあ」などのたくさんの喜びの経験も積み重なってくる時期なのかもしれません。今回で言えばBさんはそんな経験をしてきて、Aさんの悲しかった気持ち、怒りたかった気持ちがわかってくれたのかもしれない。(この「かも」と思うことが大人の私たちには大切だと自分自身は思っています。)

喜びの中で使った…ハイタッチの手、ママとつないだ手、スコップを握った手…そんな多くの経験をしていくと、もしかしたら、その手は他の子の嫌がることをしてしまっ悲しみを知らず手になるのかもしれない。そんな日が訪れるためにも、日々子どもたちと生活をする中で、子どもたちと共に喜び合い、子どもたちと共に悲した時にみを感じえる保育士でいたいと改めて思いました。

主任 湯澤 伸樹

### 【私のお気に入り】

このお気に入りには実は保護者の方にはひた隠しにしていたのですが、年甲斐もなく自分…Mrs.GreenAppleがお気に入りなんです。2025年は6月、7月、12月とライブに行き、日ごろ溜まった心の毒素をすべて吸い取ってもらっていました。12月のライブにはめぐみの森保育園のある先生も私が行く日より先に行っていたので、ネタバレさせないために、会うのを避けていました(笑)。

おすすめの曲は ①:「<sup>ルル</sup>lulu」 ②:「僕のこと」 ③:「<sup>サークル</sup>Circle」です。 ぜひご視聴ください♪